

# 災害情報研究会の活動

2018年5月31日

特定非営利活動法人 事業継続推進機構 (BCAO)  
災害情報研究会

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 活動頻度、メンバー

## ■ 活動頻度

2006年度から計127回実施、毎月1回開催

18年度で  
13年目

## ■ 災害情報研究会メンバー

(2018年5月現在：28名、順不同)

	氏名	会社名	氏名	会社名
座長	市川 啓一	(株)レスキューナウ危機管理研究所	新免 國夫	岡山県
副座長	高橋 克彦	インフォコム(株)	富田 邦裕	(株)建設環境研究所
	野田 浩二	アジア航測(株)	松岡 晶子	富士通エフ・アイ・ピー(株)
	東根 聡	(株)建設環境研究所	梅田 浩史	リスクマネジメントオフィス梅田
	副島 紀代	(株)大林組	赤堀 三代治	ARMS
	若林 亮	(株)イー・アール・エス	國貞 至	(株)リッジ
	大島 啓一	(株)富士通マーケティング	海老澤 聡	(株)湘南スタイル工房
	三島 和子	三井住友海上火災保険(株)	坂口 繁伸	日本特殊塗料(株)
	南部 世紀夫	清水建設(株)	中村 譲治	中村危機管理システム
	西濱 靖雄	西濱防災ネット技術事務所	宮角 良介	e-経営推進室
	上倉 秀之	(株)セノン	砂原 健利	(株)富士通総研
	前田 良二	AIG損害保険(株)	栗原 龍	(株)NTTデータCCS
	高木 雄司	(株)富士通エフサス	松久 正彦	富士通(株)
	徳山 英治	インフォコム(株)	久保田 幸利	セイコーエプソン(株)

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCA0全体の見解ではありません。

# 活動風景



※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 研究内容のご紹介

## ■ 研究テーマ

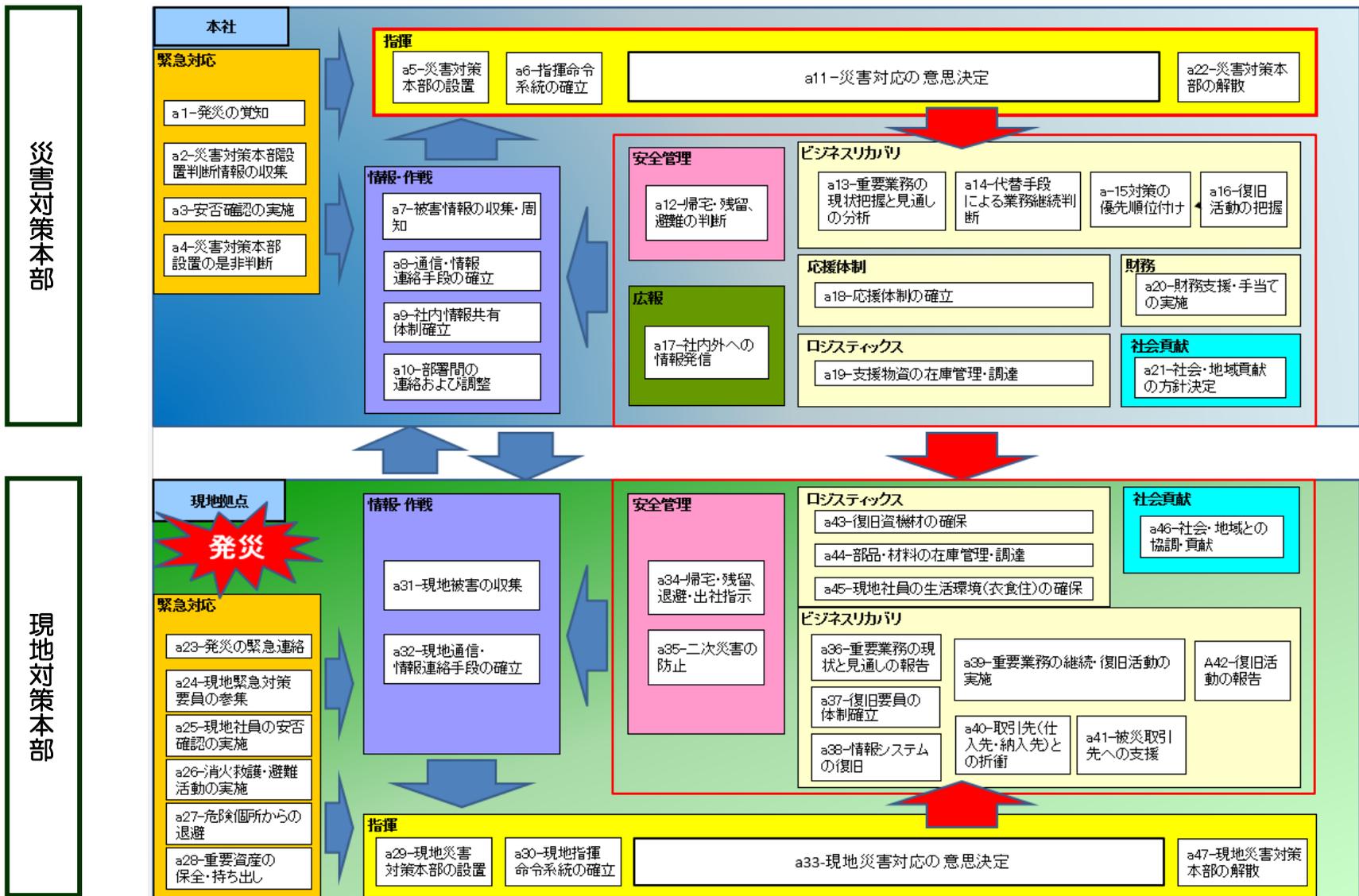
災害時の情報シミュレーションを行う

## ■ 研究概要

- 3年 ① 災害発生直後の初動対応や復旧活動を迅速・的確に行うために必要なアクションと情報項目を抽出
- 2年 ② 情報をどこからどのように入手するかを整理
- 3年 ③ 各アクション別に情報の流れをフロー図にして見える化
- 4年 ④ フロー図を汎用性のあるアクションカードに整理

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 検討① 災害対応フロー図のまとめ



※ 本資料の文責は研究会にあり、BCA0全体の見解ではありません。

# 検討② インプット／アウトプット情報の整理

アクションの実行に必要な情報（インプット情報）と、実行した結果発信される情報（アウトプット情報）を抽出

(例) a31、a32

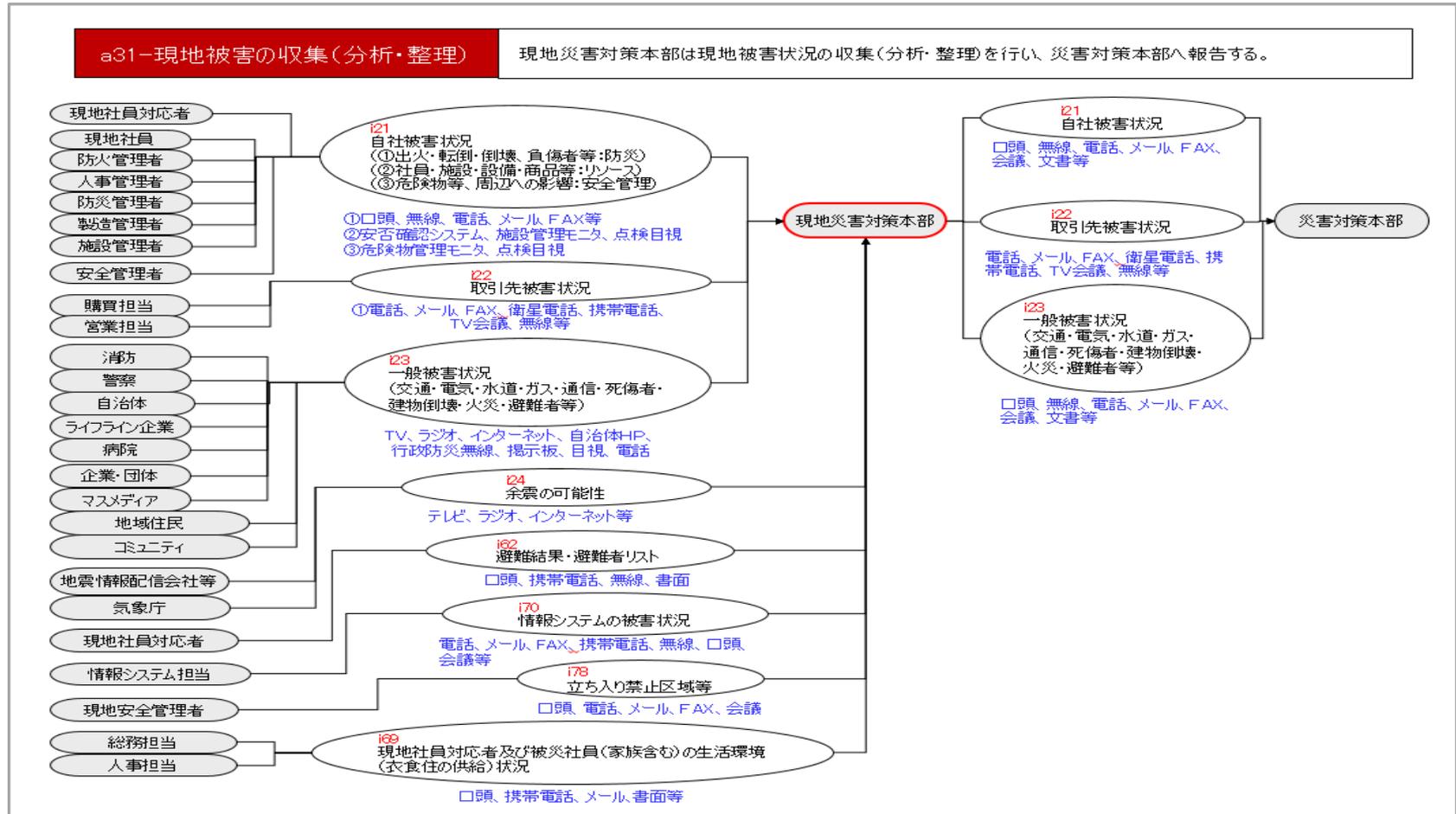
アクション	インプット情報	アウトプット情報
a31-現地被害状況の収集（分析・整理）	i21-自社被害状況	i21-自社被害状況
	i22-取引先被害状況	i22-取引先被害情報
	i23-一般被害状況（交通・電気・水道・ガス・通信・死傷者・建物倒壊・火災・避難者等）	i23-一般被害状況（交通・電気・水道・ガス・通信・死傷者・建物倒壊・火災・避難者等）
	i24-余震の可能性	-
	i62-避難結果・避難者リスト	-
	i69-現地社員対応者及び被災社員（家族含む）の生活環境（衣食住の供給）状況	-
	i70-情報システムの被害状況	-
	i78-立ち入り禁止区域等	-
a32-現地通信・情報連絡手段の確立	i21-自社被害状況	i27-通信手段の確立指示
	i26-通信事業者の被害状況	-
	i27-通信手段の確立指示	-

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCA0全体の見解ではありません。

# 検討③ アクション項目別フロー図の作成

## 情報の流れをフロー図にして見える化

### (例) a31：現地被害状況の収集（分析・整理）

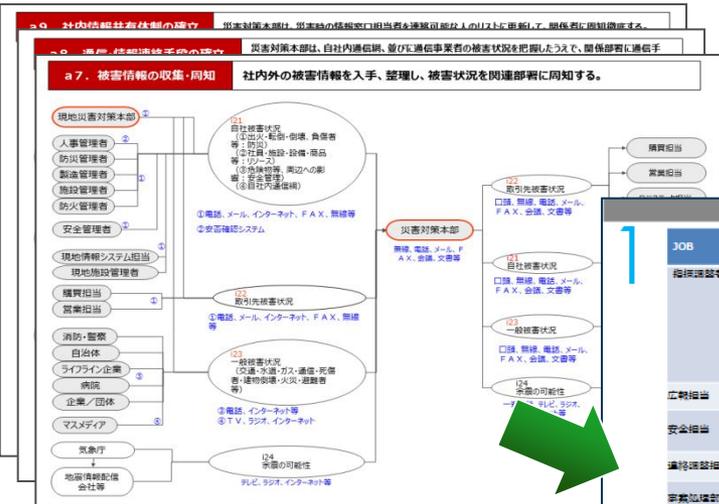


※ 本資料の文責は研究会にあり、BCA0全体の見解ではありません。

# 検討④ アクションカードの作成

アクション項目別フロー図を汎用性のある「BCPアクションカード」として展開可能な形へ

(フロー図)



(企業での実用化)

BCP発動後の体制 (災害対策本部)

JOB	担当部門	アクション番号
指揮運営者	指揮運営者	A-4 災害対策本部設置の最終判断 A-5 災害対策本部の設置 A-6 指揮命令系統の確立 A-12, A-34 備忘・放棄・避難の判断 A-21 社会・地域貢献の方針決定 A-32 災害対策本部の解散 A-29 現地災害対策本部 (東京) の設置 BCPの発動から対策本部の解散までの指揮を行う。 A-48 現地災害対策本部 (東京) の解散
広報担当	広報課	A-17 対外的な情報発信
安全担当	CSR・リスク	A-1 防災の発知 A-2 災害対策本部員の非常呼集 A-3 安全確認の実施 (更新を要す)
連絡調整担当	経営企画課	
業務支援部門	総務課	
情報作動部門	IT企業課	A-7 被害情報の収集 A-9 情報共有体制の確立 A-10 緊急時の連絡および確認
災害管理部門	総務課	A-13 重要業務の稼働把握と負担しの分析 会社インフラの稼働状況確認する。
原簿対策部門	財務経理部	A-8 通信・情報連絡手段の確立 A-19 物産の在庫管理・連携 A-20 対策支援・手当ての実施

(汎用化)

アクションカード No.A-7

項目: 被害情報の収集・周知 **責任者:** 災害対策本部長

社内外の被害情報入手、整理し、被害状況を関連部署に周知する。

No	目標時間	アクション手順	担当者	アクションに必要な情報の入手・伝達方法
1		自社被害状況を収集する (現地社員・関係者、現地システム担当者、各管理者)		詳細は、A-7-1参照
2		取引先被害状況を収集する (購買担当・営業担当)		詳細は、A-7-2参照
3		一般被害状況を収集する (メディアや現地関係者等)		詳細は、A-7-3参照
4		余震の可能性を確認する (気象庁・地震情報配信会社等)		詳細は、A-7-4参照
5		自社被害状況を整理・周知する (広報担当へ)		詳細は、A-7-5参照
6		取引先被害状況を整理し周知する (購買・		

BCPアクションカード

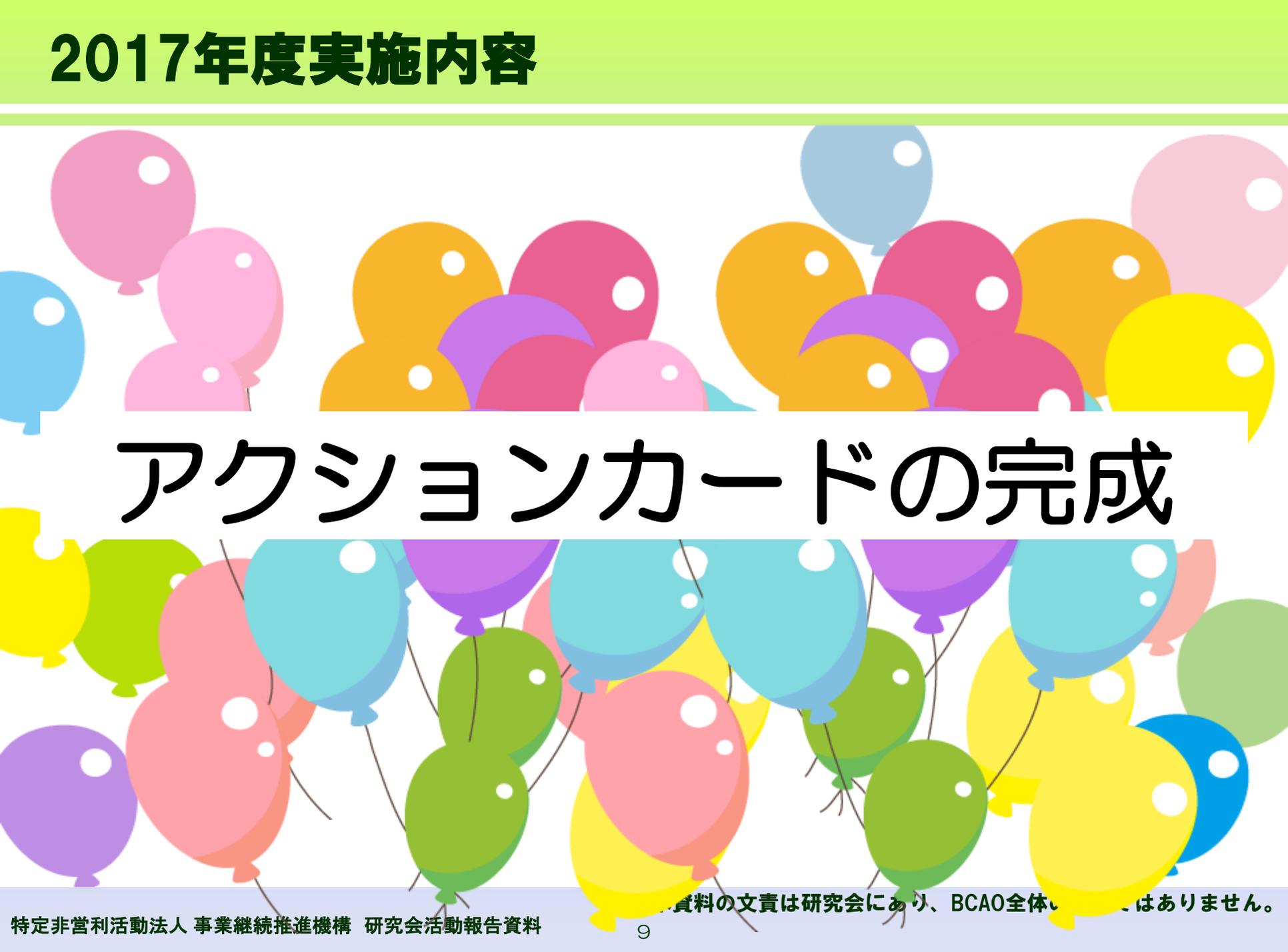
※ 本資料の文責は研究会にあり、BCA0全体の見解ではありません。

# 2017年度実施内容

## アクションカードの作成 (Action1~47)

アクションカード No.A-7		責任者	災害対策本部長
社内外の被害情報を入手、整理し、被害状況を関連部署に周知する。			
項目	被害情報の収集・周知		
ワーク	No	目標時間	アクション手順
<input type="checkbox"/>	1		自社被害状況を収集する (現地社員向け者、現地システム担当者、各管理者)
<input type="checkbox"/>	2		取引先被害状況を収集する (購買担当、営業担当)
<input type="checkbox"/>	3		一般被害状況を収集する (メディアや現地関係者等)
<input type="checkbox"/>	4		余震の可能性を確認する (気象庁・地震情報配信会社等)
<input type="checkbox"/>	5		自社被害状況を整理・周知する (広報担当へ)
<input type="checkbox"/>	6		取引先被害状況を整理し周知する(購買・営業・ロジスティック・情報システム担当)
<input type="checkbox"/>	7		一般被害状況を整理・周知する(広報担当へ)
<input type="checkbox"/>	8		余震の可能性を整理・周知する(広報担当へ)

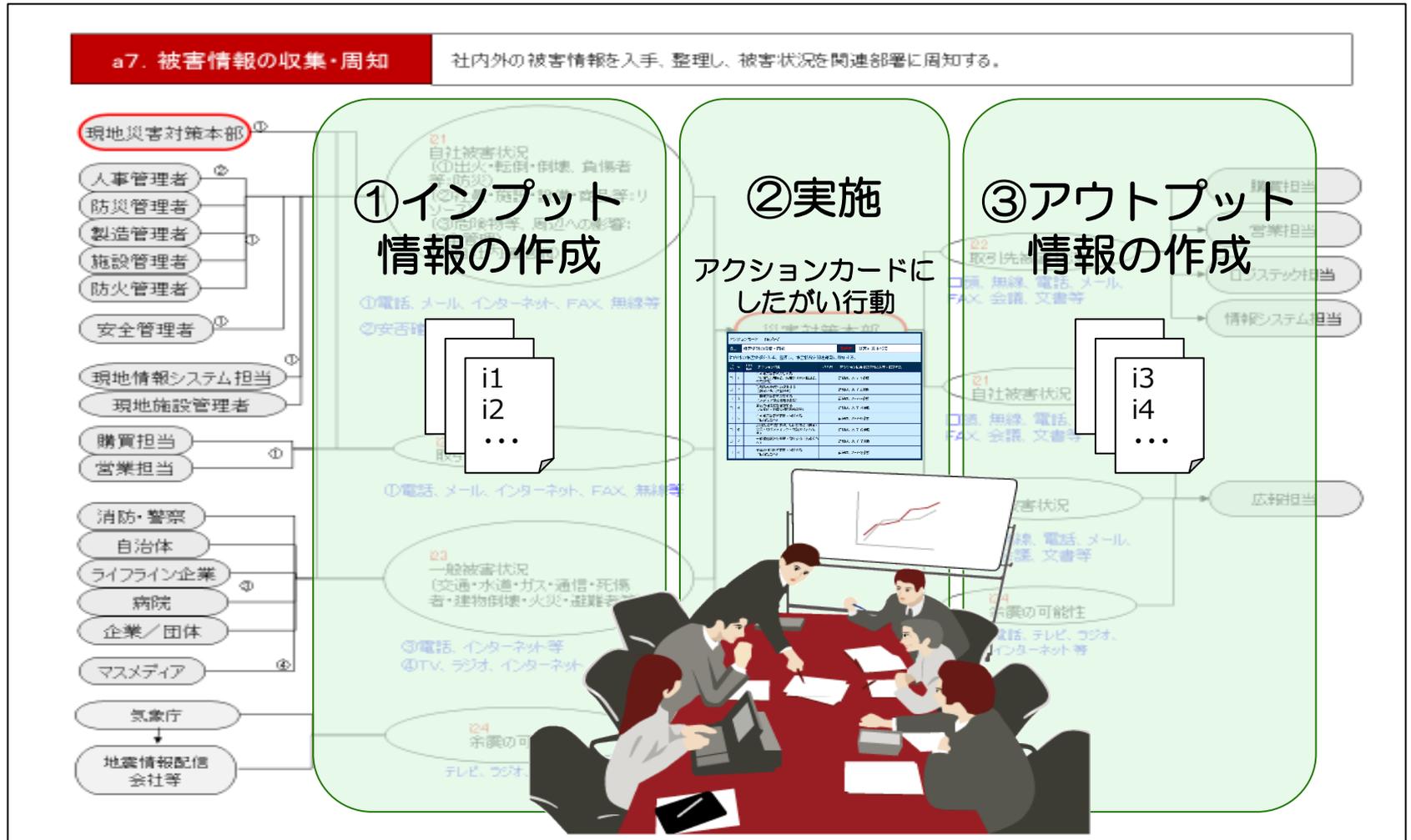
※ 本資料の文責は研究会にあり、BCA0全体の見解ではありません。



## アクションカードの完成

# 2018年度活動計画

## 完成させた「BCPアクションカード」を使用した訓練の実施



※ 本資料の文責は研究会にあり、BCA0全体の見解ではありません。

# 最後に



みなさまの入会を  
お待ちしております！



(研究会恒例 紅白歌合戦)

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

**特定非営利活動法人  
事業継続推進機構  
災害情報研究会**

A Specified Non-Profit Japanese Corporation  
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)